



MetroCluster環境でのSAN構成

ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

MetroCluster環境でのSAN構成	1
MetroCluster環境でのSAN構成	1
スイッチオーバーとスイッチバックの間でポートの重複を防止	1

MetroCluster環境でのSAN構成

MetroCluster環境でのSAN構成

MetroCluster環境でSAN構成を使用する場合は、一定の考慮事項に注意する必要があります。

- MetroCluster 構成では、フロントエンド FC ファブリックのルーテッド VSAN 構成はサポートされません。
- ONTAP 9.15.1以降では、NVMe/TCPで4ノードのMetroCluster IP構成がサポートされます。
- ONTAP 9.12.1以降では、NVMe / FCで4ノードのMetroCluster IP構成がサポートされます。MetroCluster 構成は、ONTAP 9.12.1よりも前のフロントエンドNVMeネットワークではサポートされません。
- MetroCluster構成では、iSCSI、FC、FCoEなどのその他のSANプロトコルがサポートされます。
- SANクライアント構成を使用している場合は、(IMT)に記載されているメモにMetroCluster構成に関する特別な考慮事項がないかどうかを確認する必要があります"[NetApp Interoperability Matrix Tool](#)"。
- MetroClusterの自動計画外スイッチオーバーとTiebreakerまたはMediatorで開始されるスイッチオーバーをサポートするには、オペレーティングシステムとアプリケーションで120秒のI/O耐障害性を提供する必要があります。
- MetroCluster構成では、フロントエンドFCファブリックの両側で同じWWNNとWWPNが使用されます。

関連情報

- "[MetroClusterのデータ保護とディザスタリカバリの概要](#)"
- "[技術情報アーティクル：「What are AIX Host support considerations in a MetroCluster configuration？」](#)"
- "[技術情報アーティクル：「Solaris host support considerations in a MetroCluster configuration」](#)"

スイッチオーバーとスイッチバックの間でポートの重複を防止

SAN環境では、古いポートがオフラインになって新しいポートがオンラインになったときに重複しないようにフロントエンドスイッチを設定できます。

スイッチオーバーの実行中、ディザスタサイトのFCポートがオフラインであることがファブリックで検出され、ネームサービスとディレクトリサービスからこのポートが削除される前に、サバイバーサイトのFCポートがファブリックにログインすることがあります。

災害時にFCポートをまだ削除していない場合、WWPNの重複が原因でサバイバーサイトのFCポートのファブリックログイン試行が拒否されることがあります。FCスイッチのこの動作は、既存のデバイスではなく以前のデバイスのログインを維持するように変更できます。この動作が他のファブリックデバイスに与える影響を確認する必要があります。詳細については、スイッチベンダーにお問い合わせください。

スイッチのタイプに応じて、正しい手順を選択します。

例 1. 手順

Ciscoスイッチ

1. スイッチに接続してログインします。
2. コンフィギュレーションモードを開始します。

```
switch# config t
switch(config)#
```

3. ネームサーバデータベースの最初のデバイスエントリを新しいデバイスで上書きします。

```
switch(config)# no fcns reject-duplicate-pwwn vsan 1
```

4. NX-OS 8.xを実行しているスイッチで、flogi quiesce timeoutがゼロに設定されていることを確認します。

- a. 休止時間を表示します。

```
switch(config)# show flogi interval info \\\ i quiesce
```

```
Stats:  fs flogi quiesce timerval:  0
```

- b. 前の手順の出力でtimervalがゼロであることが示されていない場合は、ゼロに設定します。

```
switch(config)# flogi scale enable
```

```
switch(config)$ flogi quiesce timeout 0
```

Brocadeスイッチ

1. スイッチに接続してログインします。
2. コマンドを入力します switchDisable。
3. コマンドを入力し configure、プロンプトでを押し `y` ます。

```
F-Port login parameters (yes, y, no, n): [no] y
```

4. 設定1を選択：

```
- 0: First login take precedence over the second login (default)
- 1: Second login overrides first login.
- 2: the port type determines the behavior
Enforce FLOGI/FDISC login: (0..2) [0] 1
```

5. 残りのプロンプトに応答するか、* Ctrl+D* を押します。

6. コマンドを入力します `switchEnable`。

関連情報

["テストまたはメンテナンスのためのスイッチオーバーの実行"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。